

植物名	科名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
		上:中:下	上:中:下	上:中:下	上:中:下	上:中:下	上:中:下	上:中:下	上:中:下	上:中:下	上:中:下	上:中:下	上:中:下
アシズリノジギク	キク											*	*
シマカンギク	キク											*	*
オッタチカンギク	キク											*	*
オキノアブラギク	キク											*	*
イソギク	キク											*	*
キセルアザミ w	キク										*	*	*
ウインターコスモス	キク										*	*	*
ステビア	キク										*	*	*
ツワブキ	キク										*	*	*
ダルマギク	キク										*	*	*

* 開花期

f 果実、種子の観賞期

こぼれ種より育成した種類

wl 人工湿原

wp 水槽鉢植え

植栽・展示しているが、未調査または開花しなかったため表に掲載しなかった植物

シダ植物：トクサ、ヒメドクサ、デンジソウなど

裸子植物：ソテツ、メジロスギ、ゴールドクレストなど

単子葉植物：オモト、ニューサイラン、リュウノヒゲ、ナギイカダ、レモングラス、サトウキビ、ショウガ、ハルウコン、ムラサキウコン、ヤマイモなど

双子葉植物：オオフサモ、オニバス、アベマキ、ママコノシリヌグイ、ハナキササゲ、ウワミズザクラ、チャンチンモドキ、ヒイラギ、センダンなど

メールマガジン創刊記録

富澤まり

平成 19 年 8 月に広島市植物公園のメールマガジンを創刊したので、報告する。

メールマガジン発行の理由

これまでホームページにて園内の開花状況やイベント等についてタイムリーな情報発信をしていたが、利用者がネットで当該ページを開かないと情報が伝わらないという情報伝達の不確実性が存在した。そこで、確実な情報提供や利用者の利便性という点で、各自のメールに個別に配信されるメールマガジン（以下メルマガ）発行が適当であると考えられた。メルマガの場合、登録をした利用者には、その都度こちらの情報が送信されるので、利用者にとって情報の取りこぼしが無い。

また、携帯メールへ配信するミニまぐについては、広島市の関連施設としては初の配信となるので、話題性も高いと考えた。

メールマガジン発行の影響

メルマガの登録、発行は無料で行われるので、費用の支出は無い。

しかし、良い話題提供や適切な頻度での配信をしないと、すぐに飽きられてしまい、購読者が減少する。利用者にとって関心の高い話題提供や、確実な配信をするための努力及び、そのための準備に要する時間が必要である。

メルマガ「広島市植物公園花めーる」概要

①配信媒体 まぐまぐ及びミニまぐ

（媒体選定の理由）

株式会社まぐまぐはメルマガを世界で初めて 1998 年から発行しており、そのシステムを利用して、首相もメルマガを発行している。まぐまぐは広島市関係では広島市、広島市江波山気象館、広島市交通科学館（H 19 年 6 月現在）が利用し、信頼度が高いと考えられる。

②発行周期 不定期 基本的に月 2 回の発行

大きなイベントや特に周知したい出来事がある場合はその都度発行する。

③発行部数（目標） 300 部以上

④バックナンバー すべて公開

⑤執筆者 管理課企画広報係を中心に、必要に応じて栽培・展示課にも依頼する。現在のところ、イベント情報中心のため、執筆は企画広報係技師が行っている。

⑥登録メールアドレス hbg@akinet.ne.jp メールマガジン購読者からの問い合わせ用に当園のアドレスを公開する必要がある。

⑦配信形式 テキスト（文字のみ）

画像付の HTML 形式を選択すると容量が重くなり、読者を限定してしまう可能性が高いので、テキスト形式を選択することとした。

⑧ 1 回の配信量 A4 で 1 枚程度の文字数

⑨創刊

パソコン用メールマガジン（まぐまぐ）

2007 年 8 月 11 日

携帯電話用メールマガジン（ミニまぐ）

2007 年 8 月 20 日

創刊号では、どちらも 8 月 25 日からの夜間開園に向けて、話題を提供した。

⑩メールマガジンへの読者登録 まぐまぐのホームページと当園のホームページから購読希望者本人が行う。

江波山気象館の例

事前調査として、既にまぐまぐにてメルマガを発行している江波山気象館協阪伯史主任より聞き取り調査を行ったので以下に記す。

平成 16 年度創刊。経費節減のため、4 ページ 2000 部発行していた紙媒体の情報誌を廃止し、メールマガジンに切り替えた。執筆の担当は輪番。発行は不定期とするが、月に 1 ～ 2 回程度は配信する。メルマガに切り替えて、個人の購読者が 50 人から 500 人に増加した。

メルマガには、印刷したとき A4 で 1 枚程度の内容が丁度良い。広島限定ではないことを念頭において、大きなイベントのみ先頭に記載することとしている。

アドレス公開による問い合わせ増加はあまりなかった。年間 2,500 件の問い合わせのうち、1,800 件が電話、メールが 10 件程度である。

ホームページ上にメルマガの申し込み、解除についてのアイコンを設定している。

配信形式は HTML かテキストかまたは両者を選べるが、HTML を選択すると、読者を限定してしまうので、テキストでの配信をしている。

メルマガ購読者数の推移と内容

広島市植物公園のメルマガ購読者数の推移は図のとおりで、現在 12 月末現在で 156 名の購読者が存在する。内容は、イベント情報が中心だが、「植物

公園ここだけの話」と題し、職員の奮闘記録や植物の豆知識など、楽しい話題を提供している。ほのぼのとした話題が多いが、植物公園に親近感をもってもらい、職員の努力を伝えるよう考えている。

現在のところ、関係者の登録が多いものと思われるが、一般入園者からも「無料入園の時に来て、メルマガを知り登録し、お得な情報が入ったときに来園する」という声があった。その一方で「メルマガに登録したことで、迷惑メールが増えて困った」という声もあり、ご自身で迷惑メール削除をお願いしたことがある。

今後の課題として、購読者の増加対策がある。特に携帯電話用メールマガジン（ミニまぐ）の読者増加対策を検討する必要がある。来園者にメルマガ登録を勧めるチラシを配布する、ホームページのトップページから登録ページに進めるようにする等努力している。

追記 ホームページについて

定期的に更新を行い、最新の内容になるよう努めている。2007 年 3 月にホームページのリニューアルを行った。トップページに植物公園を代表する 4 種類の植物（バラ、ラン（リカステ）、球根ベゴニア、サガリバナ）を使ったフラッシュ、フレームを委託で作成した。内容は従前のものを整理し、活用しやすいように充実させた。

表 1. メルマガ（まぐまぐ）発行履歴

件名	配信日	配信部数	内容（ここだけの話）
創刊号 (2007 年 8 月号)	2007.08.11	0	広島市 植物公園の紹介－開園 30 周年－夜に咲く花、香る花（花と光のページェント - 夜間開園 -）
9 月第 1 号	2007.09.05	42	失敗は成功のもと？ゲッカビジンの開花調節
9 月第 2 号	2007.09.26	78	念ずれば花開く - 続ゲッカビジンの開花調節
10 月第 1 号	2007.10.17	104	血と汗の結晶 - 熊野の老杉 実物大模型 制作秘話
10 月第 2 号	2007.10.26	111	継続は力なり 種子交換の話
11 月第 1 号	2007.11.14	129	ひょっとして日本一？！巨大コダチダリア開花中
11 月第 2 号	2007.11.24	141	タケの巨大クリスマスツリー★製作奮闘中
12 月第 1 号	2007.12.05	146	いよいよ開催 - 花と光のページェント★中学生も奮闘中
12 月第 2 号	2007.12.22	156	今日は冬至 - 今年最後の夜間開園をお楽しみください

表 2. メルマガ（ミニまぐ）発行履歴

配信日	配信部数
2007.08.20	5
2007.09.06	7
2007.09.26	11
2007.10.22	16
2007.10.26	16
2007.11.14	20
2007.11.25	22
2007.12.05	22
2007.12.22	22

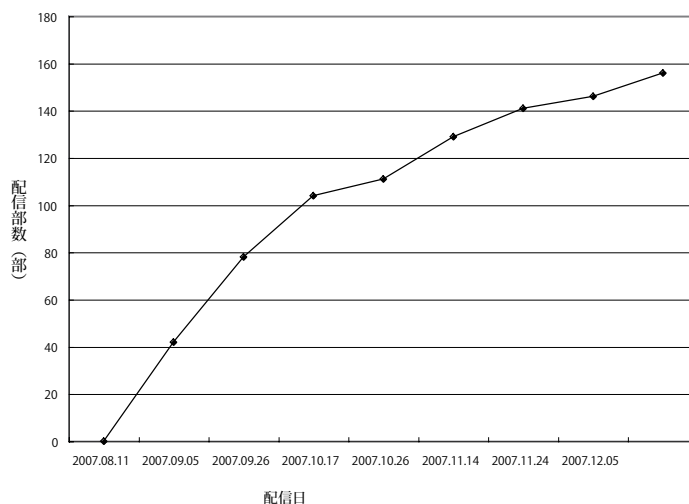


図 1. メルマガ（まぐまぐ）配信部数の推移